

平成 30 年度 出前懇談会 会議録			
地区	桂 林 地 区		市長・副市長の出席 市長・副市長
日時	平成 30 年 10 月 23 日 (火) 19:00～21:00		場 所 桂林公民館 集会室
地 区 参 加 者	武内 城町 2 丁目自治会長 (地区理事代理) 、藤高 城町 1 丁目自治会長、武内 上城内自治会長 白川丸山 1 丁目自治会長 藤本 丸山 2 丁目自治会長		計 25 名
担 当 グ ル ー プ	リーダー	江藤 上下水道局長	副リーダー 河野 総務課長
	プレゼン テーター	石橋 観光課長	連絡調整担当 中嶋 ひた暮らし推進室長
	書 記	岩尾 監査委員事務局長、江田 教育総務課長、 早川 あまがせ保育園長	
	構成員	佐々木 市民課長	
	その他		
議 題	テ ー マ		説 明 者
	1. 「防災・減災の取組」～それぞれの取組～		石橋 観光課長
	2. 「土砂災害警戒区域」とは、		石橋 観光課長

1. 「防災・減災の取組」～それぞれの取組～
2. 「土砂災害警戒区域」とは、

(意見)

- ・水門の管理について、私人に委託しているが高齢者等が多く大雨などの際、緊急に水門を開くなどの措置が遅れる。または、忘れる心配がある。市が直接管理を行えないか。今年の大雨の際は、市の担当課の職員が開門をしてくれた。

(回答)

- ・高齢化が課題となっている。できる限りご協力をいただかないと市職員だけでは対応できない。
- ・今年の大雨の際は、職員に水門の巡回をするよう指示をした。すべての水門を市が直接管理するのは数が多いので困難。災害が予想されるような降雨時には職員が巡回して、主な水門については確認をしたい。

(意見)

- ・定年延長などにより動ける人が日中家にいないことが多い。休日等で市の職員が家にいる場合など町内と市の連絡役をするなどしてもらいたい。

(回答)

- ・災害が予想されるような場合、日田市では職員に自宅待機を命じ、気象状況等により非常呼集を行い各職員が予め定められた持ち場に集合し、与えられた任務を行うようにしているので、自治会に残って連絡係になることは難しい。
- ・情報の伝達については防災メールに登録してほしい。またポケベルの周波数を使ったラジオのようなものを各戸に配布することを検討している。各地区別の情報を届けることも可能なものだが金額が問題で、(7～8億円)ではあるが導入したい。問題は皆さんがきちんと管理してくれるかどうか。
- ・日頃から避難所はどこに行くかは各班単位くらいで考えてほしい。どの道が安全かは地域の人が良く理解しているはずなので来年の出水期までに洗い出しをお願いしたい。市だけでは、判断できない。

(意見)

- ・災害時に拡声子局の声が聞こえない。町内ごとに個別に無線で通じるような配信ができないか。

(回答)

- ・先ほど説明したシステムは対応可能。音声でも文字でも配信ができる。拡声子局も活用してほしい。

(意見)

- ・浸水の具合は地区によって格差がある。場所・場所で異なる情報を得るのは良いこと。また、国交省の情報を得ることはあるのか。

(回答)

- ・国交省、気象庁などから逐次細かい情報は入ってくるが、比較的大きな地域での情報となるので、その地域の中でも状況が異なってくる。できるだけエリアを分けて情報を出していきたい。

(意見)

- ・城町は7時50分に避難勧告が出たが、7時には越水していた。ほしいのは情報であり、国管理の河川だけでなく県管理の河川の細かい情報も出してほしい。逃げる経路等細かい判断は地元の人間がよくわかっていると思う。

(回答)

- ・地形の具合等で状況が変わってくると聞いている。地元の人判断の基準を提供してほしい。皆さん方で話し合いを持たれてほしい。

(意見)

- ・日田市の避難情報はどこよりも早く出ている。しかし情報を受けても実際に逃げている人は少ない。重要なのは各自がマイタイムライン（防災行動計画）を作ること。
- ・災害となりそうなときは、いつ薬を準備するなどの行動計画を作っておくこと。情報を伝えても情報を受けた人が実際の行動に結びつくようにすることが大切。

(回答)

- ・避難勧告を出して避難した人は小野・大鶴地区以外は3%程度。自宅の状況によりタイムラインを作してほしい。避難所が遠い人はとりあえず自宅の2階に避難するなど、各自の状況に応じて判断をしてほしい。

(意見)

- ・共助が大事ということだが、世の風潮がそれに反する方向のようだ。解決には各自治会等では、難しいところがある。どうしたら動けるようになるか。市をあげて考えてほしい。
- ・地震の際の液状化の問題。今後の造成についてどのように考えているか。

(回答)

- ・一人でも多くの方に共助についてご理解をいただきたいと思っている。個人情報問題があり、民生委員や自治会長の方は大変だと思う。要支援者には事前に救出の方法、担当を決めるなどの方策をとってもらっている。
- ・日田市では液状化の情報が入っていない。日田市の予想最高震度は5強程度と聞いている。旧市内は土砂崩れの可能性のほうが高いと考えている。

(意見)

- ・平成 29 の災害時に陸上競技場の国旗ポールのそばに穴が開いている。土嚢を入れただけの対処だった。今は袋が風化して土だけが出ている。自分で土手の穴は土を入れたがその後なんの対応もない。先日その穴に子供が入って遊んでいたので注意した。都市整備課に行ったが、事情を把握していなかった。サービス公社からも連絡はないのか。
- ・陸上競技場の東側上部の「いぬばしり」のところにも穴が開いている。側溝も浮いている。市の担当者は承知しているのか。

(回答)

- ・早速、確認させます。

(意見)

- ・避難所になっている林工高校の雨漏りとトイレの改修をお願いします。
- ・花月川の改修や道路等の変更について地域住民に丁寧な説明をお願いしたい。

(意見)

- ・丸山 1 丁目に住んでいて 3 度床上浸水を経験している。内水によりすぐに浸水する。ポンプを置いてもらっているが、ある程度水がたまらないとポンプが水を吸わない。

(回答)

- ・吹上にもそういう場所がある。ポンプが機能しない可能性があるのでいわゆる「釜（集水桝）」と排水路を掘らなければならないと思う。県と交渉して設置する方向で検討している。

(意見)

- ・水門の管理で、重要なところだけは市の管理をお願いします。

(回答)

- ・気象情報により、職員が巡回して見て回るよう指示をしており、機能していると思う。

(意見)

- ・城内川の改修について測量をしていると聞いていたが、その後どうなっているか。

(回答)

- ・城内雨水幹線は、状況の調査が終わった。今後実施設計の後下流から改修工事を行っていくこととなる。深くしていくこととなる。約2 kmある。金額の問題もありある程度の時間が必要と思います。

「土砂災害警戒区域とは」

(意見)

- ・各家庭に配布されているハザードマップだが、見ていない人が多いのではないか。校区ごとのマップを配布することができないか。

(回答)

- ・各戸に配布したものは内水ハザードマップだが、会場内（桂林公民館）に掲示しているのは、土砂災害のハザードマップです。  
また、拡大した内水ハザードマップも下水道課内に用意してあるので必要な方は取りに来てほしい。ホームページにもアップしている。

(意見)

- ・ホームページにアップしていても高齢者等で見れない人もたくさんいる。アナログと共通して両輪で情報提供してほしい。

(回答)

- ・捨てられないように工夫したい。町内や地区ごとのものは検討したい。

(意見)・桂林公民館館長から

- ・桂林公民館にハザードマップの地区ごとのものをコピーして置いてある。必要な方は公民館に来ていただきたい。

(回答)

- ・更新したら新たなものを配信していきたい。